

平成 28 年度第 1 回 沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

日時：平成 28 年 4 月 19 日（木）19：05～21：29

場所：琉大病院がんセンター

参加者 13 名：笹良剛史、伊藤昌徳（Skype）、野里栄治、尾崎信弘、新屋洋平、川田聡、笠原大吾、
垣花真紀子（Skype）、福地泉、親泊美香、友利健彦、多和田慎子、増田昌人
欠席者 6 名：足立源樹、喜納美津男、大湾勤子、栗山登至、島袋恭子、崎枝久美
陪席者 1 名：山口元子

< 報告事項 >

1. 平成 27 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨について

資料 1 に基づき、笹良部会長より平成 27 年度第 4 回緩和ケア部会議事要旨の報告があった。

2. 緩和ケア研修会終了報告について（ハートライフ病院）

資料 2 に基づき、笹良部会長よりハートライフ病院の緩和ケア研修会の報告があった。

3. 琉大 ACP の取り組みについて

資料 3 に基づき、増田委員より琉大病院における ACP の取り組みについて、3 月 16 日に研修会を行ったとの報告があった。好評だったが受講者が少なく、どうやって院内に広げていくかが課題とのことだった。全診療科の医局会で説明を行った後、上半期中に各診療科 1 例は ACP を行ってもらう予定とのことである。

4. 沖縄県立中部病院主催 今知っておきたい「がん」のことイベント 報告について

資料 4 に基づき、新屋委員より 2 月 4 日に中部病院主催で「今知っておきたい『がん』のこと」イベントを行ったとの報告があった。アンケートの回答は 63 件だが写真に写っている人を合計すると 200 人以上はいたようだ。相談コーナーでは医師と話したいという方がほとんどであったが、緩和ケアの相談はなかった。事前告知は新聞、県の広報誌などで、新聞掲載後は問い合わせが増えたとのことだった。

5. 平成 27 年度緩和ケアフォローアップ研修会について

資料 5 に基づき、笹良部会長より平成 27 年度緩和ケアフォローアップ研修会について報告があった。終末期やアドバンスケアプランに焦点を当てている。内容が多かったので深みが足りなかった。もっと多くの人に受講してもらいたいので、研修時間や行う場所など検討が必要ではないかとのことだった。

< 協議事項 >

1. 平成 28 年度の部会長・副部会長及び部会委員について

資料 6 に基づき、部会委員の確認が行われた。北部地区医師会病院の委員が比嘉委員から野里委員に変更になった。琉大病院からは緩和ケアセンターの中村副センター長が委員に加わる事が承認された。今年度の部会長は前年度に引き続き笹良委員、副部会長は新屋委員と中村委員が務めることになった。

2. 平成 28 年度事業計画に基づいた具体的な割り振りや実践について

資料 7-1、7-2、7-3 に基づき平成 28 年度事業計画に基づいた具体的な割り振りや実践について増田委員より説明があった。部会の仕事を絞ること、アウトカムに到達するには全例スクリーニングとフィードバックが効果的ではないかとの提言があった。

3. 平成 28 年度の的場班の臨床試験及び実践について

平成 28 年度の的場班の臨床試験及び実践について増田委員より説明があった。委員から各病院の痛みのスクリーニングの現状について報告があった。琉大病院については多和田委員より報告があり、痛みのスクリーニングは定着してきたので次の段階に進みたい。具体的には業務フローの作成や院内マニュアルの修正を考えているとのことだった。南部病院と豊見城中央病院については笹良部会長より報告があり、南部病院の緩和ケア病棟ではスクリーニングをしていない。豊見城中央病院は入院患者のスクリーニングを毎日やっている。外来患者は化学療法室の待合で問診をしているがリアルタイムフィードバックが課題とのことだった。県立中部病院については新屋委員より報告があり、去年は外来患者はほぼ全員スクリーニング出来ていた。入院患者でがんがある方は入院時のスクリーニングで全例聞いている。今年電子カルテを導入するのでスクリーニングと除痛率もシステムに入れたいとのことだった。沖縄県立南部医療センター・こども医療センターについては川田委員から報告があり、院内に緩和ケアは精神の問題についてコンサルトしたいときという雰囲気があり、痛みについては主治医がやるという状況で、これから改善していきたいとのことだった。県立八重山病院については尾崎委員より報告があり、スクリーニングをモデル病棟から全病棟に展開したところだが、4月にスタッフが半分以上入れ替わるので最近スクリーニングを再開したところである。外来患者については問診時にやる事になるだろうとのことだった。県立宮古病院については垣花委員より報告があり、スクリーニングはがん性疼痛認定看護師がやっているが全例は出来ていない。電子カルテのシートを増やしてやるということになったがたたき台はまだできておらず、スクリーニングとフィードバックについては県立八重山病院と同じく 4月にスタッフが半分以上入れ替わっているためこれからということだった。北部地区医師会病院については野里委員から報告があり、4月に来たばかりなので院内の状況がまだわかっておらず、緩和ケアチームがあるかもわからないとのことだった。増田委員より、琉大病院でのスクリーニングのやり方を資料としてまとめて情報提供すること、希望する施設には青森中央病院のシステムエンジニアを紹介する事が提案された。

4. 県拠点病院等における緩和ケア研修会の受講状況と今後の対策について

増田委員より、拠点病院の緩和ケア研修会受講義務について説明があった。受講義務のある医師は中部病院があと 53 名、琉大病院があと 123 名とのことで、自院主催の緩和ケア研修会ではまかないきれないので他施設主催の緩和ケア研修会でも受け入れて頂けるよう新屋委員と増田委員より要請があった。

5. 平成 28 年度の緩和ケア研修会について

平成 28 年度の緩和ケア研修会について、豊見城中央病院は 11 月 26 日、27 日に行うとのことだった。緩和ケア研修会における合同検討会議等の開催状況及び内容について増田委員より説明があった。がん診療連携協議会にて協議を行う事が決議された。

6. 次回部会開催日程について

次回部会開催は 7 月とし、日程調整はメールで行う事になった。

7.その他

笠原委員より、在宅で麻薬があまり使われていないという現状について情報提供があった。増田委員より、「沖縄県在宅緩和医療研究会」の周知があった。